



はばたけ！佐世保のアスリート ⑥ ソフトテニス競技

ソフトテニスは緩急を織り交ぜた打球によるラリー(球の打ち合い)と、スマッシュやボレーなど迫力あるプレーが魅力のスポーツです。今回は長崎がんばらんば国体強化チームの指定を受ける「親和銀行ソフトテニス部」の皆さんを紹介します。

親和銀行ソフトテニス部は、平成24年日本実業団リーグ3位、昨年の九州実業団大会では優勝するなど、九州トップクラスの実力を誇る実業団チームです。日本実業団リーグでの優勝を目標に、週末の通常練習のほか、合宿や遠征などを意欲的に行っています。長崎がんばらんば国体での活躍にご期待ください。



児玉浩太さん(松浦支店)

持てる全ての力を発揮して国体優勝を目指します。スピード感あふれるプレーを見に来てください。



中尾寛之さん(大宮支店)

国体優勝に向けて、チーム一丸となって挑戦しますので応援よろしくお願いします。

長崎 **がんばらんば** 国体 2014 長崎 **がんばらんば** 大会 2014
ソフトテニス競技 10月13日(月・祝)～16日(木) 会場 総合グラウンド庭球場

☎国体推進室 ☎76-7103

させほ市政だより キラっ都させほ

朝長市長とレポーターが市の施策などをお知らせするテレビ番組「させほ市政だより～キラっ都させほ～」。今年度は6月から来年3月まで放映します。

「キラっ都させほ」は月ごとにテーマを設け、市長が出演し市政を分かりやすく伝えます。本編のほかに、佐世保で活躍する市民の皆さんを紹介する「させほのキラっ人さん」もあります。6月放送では「させほ観光3しいGO！作戦」の内容などを紹介。視聴者プレゼントもありますので、どうぞご覧ください。



市長とレポーターの諸岡なほ子さん

放送スケジュール

放送予定日	放送時間(放送局)
第1・3土曜	9:25(NBC)、11:40(KTN)
第2・4土曜	10:55(NCC)
第2・4日曜	6:25(NIB)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

☎秘書課 ☎24-1111

人の動き 5月1日 現在

- 総人口 255,802人(+1,256人)
男性 120,151人(+946人)
女性 135,651人(+310人)
- 世帯数 106,092世帯(+819世帯)
- ※4月中の動き
転入 2,215人、転出 869人
出生 176人、死亡 266人

させほ市政だより

- テレビ
NBC→土曜9時25分～30分
KTN→土曜11時40分～45分
NCC→土曜10時55分～11時
NIB→日曜6時25分～30分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分～30分
FM長崎 火曜 9時5分～10分
FMさせほ 火曜10時30分～35分
日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

市長日記 / 光り輝く西海みかんと生産者の皆さん！



先般、平成26年度ながさき西海農業協同組合(JAながさき西海)の「させほ地区かんきつ部会」の通常総会並びに西海みかん生産者大会が開催され、来賓として出席

した際に感じたことを記したいと思います。

「味っ子」「味まる」「出島の華」のブランドで有名な「西海みかん」の生産者「させほ地区かんきつ部会」の会員は297人おられるそうで、当日は250人ほどが出席されていたようでした。その出席者を見て、まず感じたのが、皆さんの目が様に光り輝いて見えたこと、そして明るい熱気が伝わってきたことでした。

それもそのはず、「西海みかん」の平成25年度の販売実績は、前年度の約24億円をはるかに上回り、約25億5千万円を超え、しかも東京などの市場では、日本一の高値で取引されたとのこと。この皆さんの目の輝きは、達成感や満足感、あるいは、これからの生産に対する自信や意欲、意気込み、そのようなことからきているのではないかと思います。

永田部会長さんがあいさつの中で、「昨年も味にこだわる取り組みが好結果をもたらし、他産地をリードすることになった。しかし、これは先輩方や



部会の皆さんが長年努力を積み重ね、その長年の信用が市場での高い評価につながっているということなので、これからは慢心することなく栽培管理を徹底して、安定生産と高品位なミカン作り、さらなる銘柄確立を目指し、部会員、JA、関係者で総力を挙げて取り組んでいきたい」と強い決意を述べられたのを聞き、大変頼もしく感じました。

農業は、高齢化問題や後継者・担い手不足、TPP問題など、さまざまな課題がある中で、「させほ地区かんきつ部会」の取り組みは、次の世代を担う人や他産業に従事する人を含め佐世保で生活する人々に大きな示唆、励み、そして「夢」を与えてくれているのではないかと思います。今回ご紹介しました。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 ⑦

列車の声が届いた！

昨年3月、仕事帰りに気付いた広告がありました。

- ・知っています、あなたの優しさ。
その優しさを見せてください。
…
- ・それって、今、話さなくちゃいけないんですか？
…
- ・あなたの部屋ですか？
いいえ、ここは、列車の中です。

「列車の声を聞いてください」というこの広告は、以前から言われていた、若者の列車内の床への座り込みや携帯電話の利用などを意識したもののようなものでした。しかし、この広告の頃は、そういったことを見ることはほとんどありませんでした。

なぜでしょうか。それは、多分、毎日の注意のアナウンスの効果と同時に、今の若者にはそのような行動を

取らないという、謙虚さや自省心が十分あるということの証明ではないかと思いました。

社会生活でのいわゆる迷惑行為を、日々の呼び掛けの中でなくせるという経験し、実にさわやかになりました。

私は、品格や徳といったものは、ルール尊重やマナーの会得の中で具体的な姿を表すのではないかと思っています。ですから、大人は自分が手本になっているということを実感することが大切です。

県民運動として平成13年度に始まった「ココロねっこ運動」はまさに、大人の「ココロのねっこ」を問うもので、あいさつ一つをとっても、人間の徳を育てることにつながっていると、私は信じています。



三川内保育園長 山口 芳雄

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！